

令和7年度 第2回 城南図書館・児童館 連絡協議会 (城南児童館運営審議会) 議事要録

1 開催日時及び場所

令和8年3月2日(月) 10:30~11:30

場所: 熊本市立城南図書館・熊本市城南児童館 多目的室

2 出席者 16名

尚綱大学短期大学部 幼児教育学科 教授

熊本市立隈庄小学校 校長

熊本市南区文化協会 会長

隈庄校区青少年健全育成協議会 会長

豊田小学校PTA 会長(欠席)

隈庄校区自治協議会 会長

城南地域ブランド力向上委員会 TEAM城南ワンダホー 会長

杉上校区主任児童委員・民生委員

城南子育て支援センター(小木こども園)

親育ち支援の会 ポトフ 会長

地域子育てクラブピカピカ 会長

城南まちづくりセンター 城南公民館 館長

熊本市こども局 こども育成部 こども支援課

熊本市教育委員会事務局 教育総務部 熊本市立図書館

城南図書館管理運営共同企業体 代表

3 議事内容

1) 令和7年度事業計画及び取り組みについて

2) 利用者数等の報告

・資料に基づき、事業計画及び取り組み、利用者数等について報告

・アンケート集計結果について、資料に基づき、別途報告

4 質疑応答

「城南図書館・城南児童館へ意見等」

委員 A

図書館と児童館の枠組みを超え、地域の拠点として機能している様子を拝見し、スタッフの皆様のご努力のおかげであると思っております。図書館内を拝見しましたが、スタッフの方々の笑顔でのご挨拶もあり、非常に居心地の良い空間であると感じました。昨今はデジタル化が進み、タブレットやスマートフォンで情報を得る時代ですが、本が並ぶ雰囲気の中で背表紙を見ながら選ぶ楽しみは、やはり格別なものです。これからの図書館・児童館が今後どうあるべきか、教育や保育の面はもちろんのこと、時代の変化にどう向き合うかが重要だと考えております。世の中の変革自体は決して悪いことではありません。だからといって、過去を懐かしむだけの懐古主義に陥って、デジタルを否定するわけでもなく、デジタルとアナログの両方を上手く「ハイブリッド」に活用していくことが、現在の国の政策としても求められている方向性ではないでしょうか。先ほど、来館者数がコロナ禍以前の8割まで回復してきているというお話がございましたが、世の中全体として、実際に「足を運ぶ」という行為自体が以前ほどされなくなっており、回復は極めて難しい状況にあります。そのような中で8割という数字まで戻してこられたのは、スタッフの皆様のたゆまぬご努力があったからこそだと思っております。

委員 B

日頃より子ども達が大変お世話になっております。毎月、図書館だより・児童館だよりを拝見させていただいておりますが、本日改めて説明を聞き、子ども達が興味を持つような様々な取り組みをされていることが分かりました。児童館利用者の50%以上、図書館利用者の30%が隈庄小の児童であり、子ども達にとって、身近な居場所となっていることを大変ありがたく感じております。夏場に下校途中の児童が水分補給に立ち寄ったり、時には体調を崩した際には対応していただいたりと、生活面でも支えられております。一方で、利用者が多いゆえに、ご迷惑をおかけしていないか心配しております。もし目に余るような使い方がございましたら、遠慮なくお伝えください。これからも、子ども達が気軽に立ち寄れるような居場所であってもらえればと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

委員 C

図書館は、本を手取ることで人の心を豊かにし、潤してくれる場所です。そして本によって迫体験ができるのです。いろいろな場面に出会い、人生観、世界観が広がっていくことが、大きな図書館の魅力だと感じます。児童館につきましても、子ども達が健やかに育っており、子育て支援が行き届き助かっているという声をよく聞きます。城南児童館に来て良かったと感じている方もたくさんいらっしゃると思います。また、少子化時代において、妊娠・出産から始まる子育て支援の充実は不可欠です。スタッフの皆様のご能力と組織力を活かし、時代に即したあるべき姿を実現していただきたいと願っております。最近では児童書やパズルの売り上げが伸びているという報道もあり、デジタル情報が溢れる中だからこそ、実際に本に触れたいという子どもたちの意欲を大切にしていきたいものです。

委員 D

先ほど、ボードゲームを実施しているというお話がありましたが、こども達の興味を引く道標として、最近人気の「レシピ」などのカードゲームやボードゲームを活用した取り組みは非常に良いと感じております。現在、中高生ボランティア TEAM が動き出しているということで、中学生の時からボランティアに関わり、高校生になってもそのまま継続していければとても喜ばしいことだと思います。また、私の所属先で募集した「いじめ防止標語」を館内に展示させていただければ、こどもたちの励みになると考えております。さらに、公民館と共同での「秘密基地作り」や、災害時に備えた「手押し式の井戸」の設置など、こども達の体験と安全の両面に配慮したアイデアを今後も検討いただければ幸いです。

委員 E

昨年のあきげしき幻灯彩の主催をしており、皆さんにも協力していただきました。また、隈庄校区の育成クラブが保護者主体で行っているのですが、とても手狭でこども達がひしめき合っているということで、去年の夏休みはコミュニティーセンターを3日間開放しました。こども達にも大変好評で、やって良かったと思えました。また、地域の安全確保については、隈庄校区内での横断歩道設置やスピード規制について南警察署へ要請を行っております。中学校前の道路についても、登校時間の進入禁止措置を来年度中に実現できるよう、学校やPTA、親校会と連携して手続きを進めております。こども達の安全を最優先に、今後も取り組んでまいります。

委員 F

大規模な図書館とは異なり、地域密着で親子が自然と集まれる点が、城南図書館・児童館の素晴らしい魅力の一つであり、児童館と図書館が併設しているという事は、本当に素晴らしいことだと思います。デジタル先進国のスウェーデンがタブレット教育から紙の教科書へ回帰する方針を示したように、これからは改めて「紙」の価値が大事にされる時代が来ると感じております。エントランスの展示コーナーについては、個人の趣味やコレクションをお持ちの方へ広く公募してはいかがでしょうか。マニアックな展示がきっかけとなり、これまでとは異なる分野の方々が来館される新しい機会になると期待しております。

委員 G

乳児向けの「はじめの一步」事業が定着し、ネット情報を経由して城南地区だけでなく、遠方からも参加者が増えていることを実感しております。一方で、これだけ来館者数が多い施設ですので、スタッフの皆様の負担や体制についても、熊本市として十分に配慮していただきたいと感じております。また、不特定多数が集まる場所ゆえの安全対策・防犯対策についても、スタッフと利用者の安全のために、引き続き注力をお願いしたいと考えております。

委員 H

今年度も、保健師や主任児童委員の方々による「赤ちゃん訪問」をきっかけに、たくさんの方が支援センターへ足を運んでくださいました。支援センターが、お母さん達の友達作りや、こども同士が触れ合える楽しい場所になっていることを日々実感しております。特に有難いと感じているのが、皆様との「横のつながり」です。児童館の先生方が「支援センターで助産師さんの相談があるよ」と年齢に合わせて勧めてくださったり、公民館の職員の方々とコラボ事業でご一緒したり、職員同士が「あそこも良い所だから、一緒に行ってみよう」と自然に紹介し合える今の環境に、私自身とても喜びを感じています。城南町全体で手を取り合い、子育てを支えていけるこの体制をこれからも大切にしていきたいです。「城南町で子育てができて楽しい、安心だ」と全ての親御さんに言っていただけるよう、精一杯取り組んでまいります。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

委員 I

私達は、家庭訪問型の子育て支援という事で、ご家庭に訪問活動をしています。家にこもりがちのお母さんを児童館にお誘いして、一度来てみるとその良さを分かってもらえ、次につながる事が出来ます。また、児童館から紹介されたお母さんを、こちらが訪問し、困りごとに寄り添い、ケースに応じ別の機関を紹介するといった、お母様方をスムーズに繋げられている現在の連携体制を嬉しく思います。児童館でも親子料理教室やスイーツクッキングなどされているとは思いますが、私たちも「食育の会」という事で、料理教室をしています。好評だったのが、袋一つで手軽にできる「防災パッキング料理」という事で、親子で学べる食育イベントを広い庭を活用して実施しても楽しいのではと思いました。

委員 J

城南児童館の来館者の多さというのが先ほどの報告でもありましたが、児童館の先生方が魅力的なイベントをたくさんしていただき、季節行事では仮装して下さるなど、こども達の夢を大切にする姿勢にいつも感謝しております。そんな思いが伝わり私たちもまた来たいと思えます。そういったことが来館者の多さの要因ではないかと思えます。また SNS の発信も頑張っておられ、Instagram などの SNS 発信を見て「楽しそう」と来館される私たちのような若い世代が増えており、SNS の活用も大きな要因になっていると感じます。利用者参加型のエンタランスの展示も児童館からの帰りに見て、図書館でも参加したいと図書館利用へ繋がる流れもできていると思えます。これからも児童館と協力していきたいと思えます。

委員 K

トイレ改修工事期間中の施設利用など、多大なるご協力をいただき感謝しております。当館に依頼のあった、火の君太鼓さんの県大会優勝に伴う優勝旗の展示場所の提供や、ボードゲーム事業の話も、トイレ改修工事期間中につき来館者の方も少なく、城南図書館・児童館さんに相談したところ快く引き受けてくださり感謝しております。令和 8 年度も引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。

企業体代表

皆様から多くの温かいお言葉をいただき、スタッフに感謝しております。また、ご参加の方からいただいたアイデアなども具現化できるよう努めてまいりたいと思います。先日、公共施設を司る大きな大会がございました。そこでされたのが、「安定的な利用者を確保するためにはどうすればよいか」という講演でした。公共施設運営において大切なのは、単なる「利用者」ではなく、施設を愛してくださる「ファン」を増やすことと言われており、その通りだと思いました。当社は50以上の施設の管理に携わっておりますが、この城南図書館・児童館には確かにファンが多いのです。これがやはり成功する秘訣だと思います。逆にファンを持っていない施設もあるという事も感じました。皆様からいただいたご意見もファン作りが上手くいっているこの施設だからただのご意見ではないかと思います。まさに本日は、ご出席されている多くのファンの方々に支えられていることを実感いたしました。本日は、お忙しい中お集りいただきありがとうございました。